



牛白血病の発生が増加しています。



★背景

*平成10年に届出伝染病に指定されて以降、全国的に発生頭数が右肩上がりに増加
 *と畜場で発見されると・・・

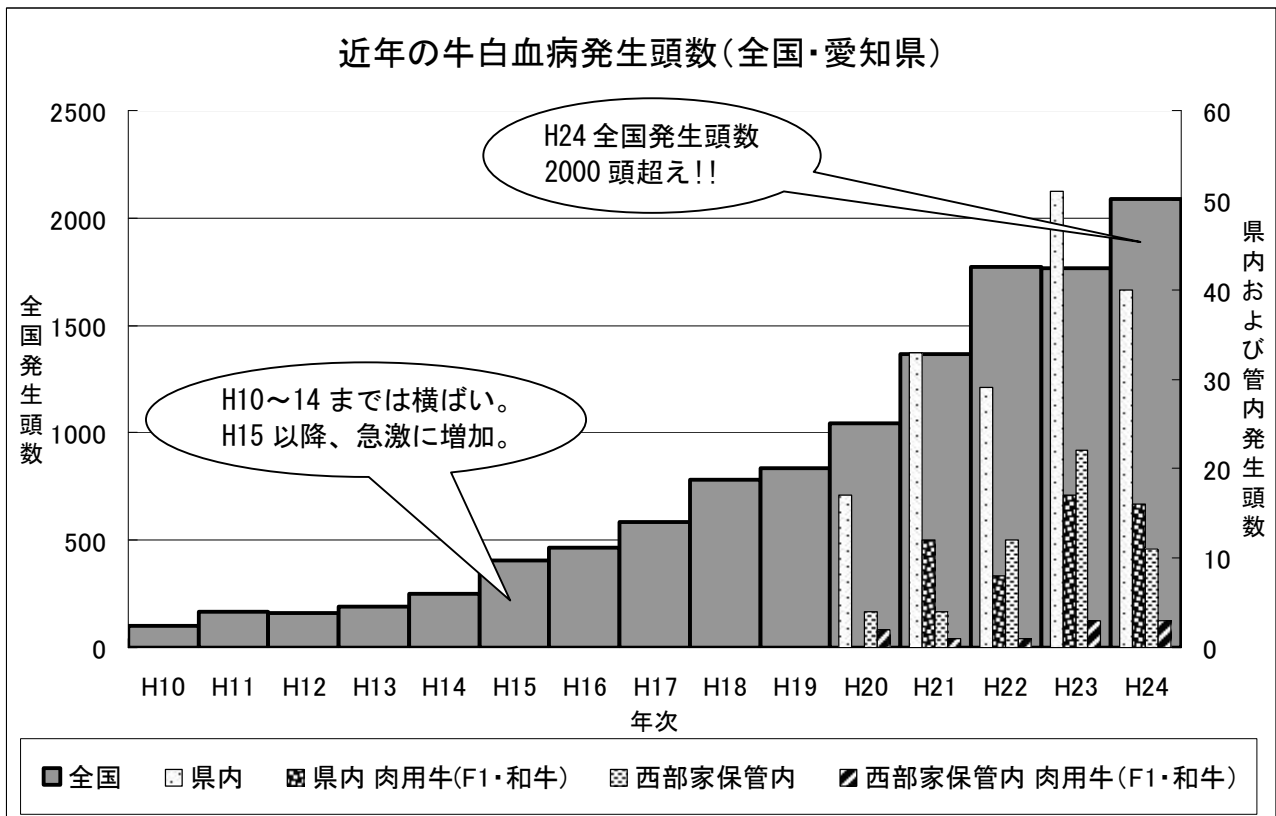
- ・全廃棄
- ・共済金の対象外



経済的に大きな損失!!

*平成21～24年度に知多地域の全搾乳牛農場で牛白血病抗体検査を実施

→98.4%の農場が抗体陽性



★牛白血病とは？

- *監視伝染病のうち届出伝染病に指定
- *白血球（リンパ球）の異常増殖や悪性腫瘍を主徴とする疾病
- *牛白血病にはウイルス性と非ウイルス性がある

→大半はウイルス性

感染しても60～70%は無症状に経過⇔目立った症状がなくても生涯ウイルスを保持
 →他の牛へ感染を広げるため、**要注意!!**

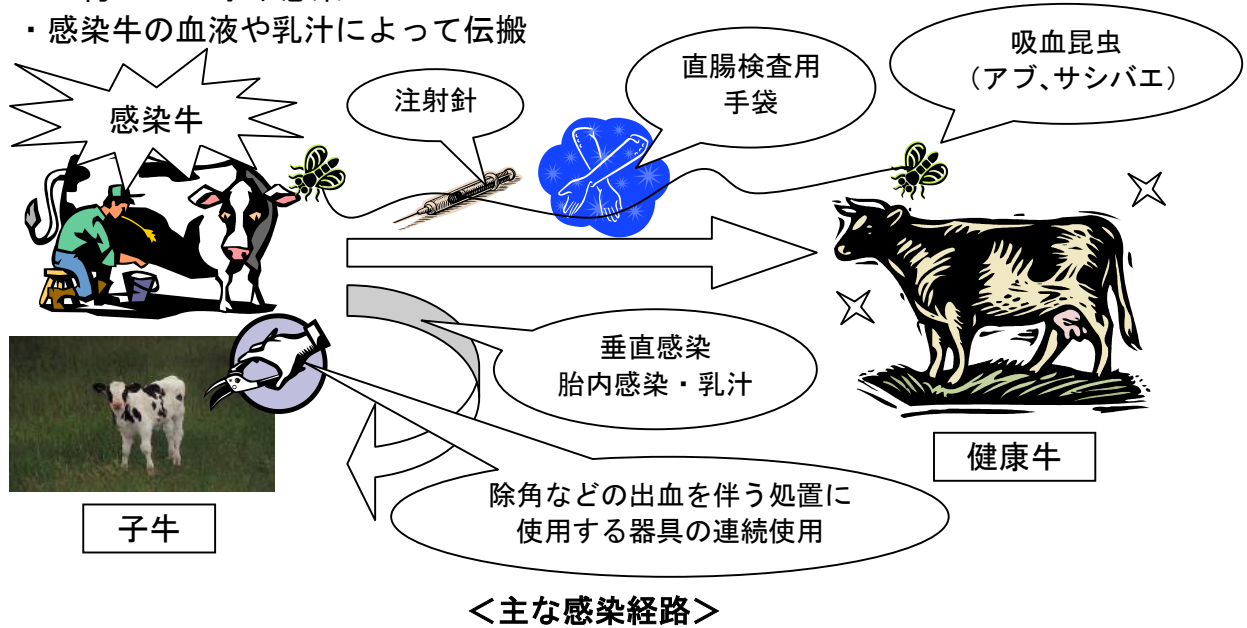
→数ヶ月～数年を経て悪性腫瘍が認められるのはわずか2～5%

↓
 体表リンパ節の腫大、眼球突出などの外貌の変化

★感染経路とその対策

* 感染経路

- ・ 垂直感染（母牛から子牛への感染）と水平感染（牛から牛への感染）がある
→ 約 90%が水平感染
- ・ 感染牛の血液や乳汁によって伝搬

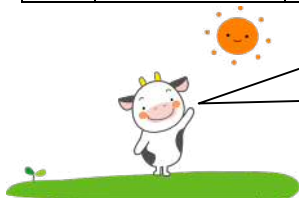


* 感染予防対策

本疾病に対する有効な治療法はない→**感染予防対策を徹底することが重要!!**

<感染予防対策>

感染経路	具体例	対策
垂直感染	胎内感染 胎盤を介した感染	・ 感染牛を繁殖に用いない ・ 後継牛を残したい場合は、感染牛の受精卵を健康牛に移植
	乳汁感染 感染牛の初乳	・ 初乳を凍結処理または加温殺菌（56℃、30分） ・ 市販代用乳を使用
水平感染	人を介する感染 注射針・直腸検査用手袋の使い回し	・ 1頭毎に交換
	出血を伴う処置（除角、削蹄、断尾、去勢など）に使用する器具の連続使用	・ 1頭毎に洗浄・消毒（逆性石鹼で可） ・ 電気焼烙器を使用（除角時）
	搾乳時のミルクカー	・ 搾乳の順序を配慮（陰性牛を先に搾乳）
吸血昆虫を介する感染	アブ・サシバエによる吸血	・ 陽性牛の隔離 ・ 陽性牛の計画的更新 ・ 吸血昆虫が発生しにくい環境の整備 ・ 忌避剤・防虫ネット・ハエ取りシート等の使用



牛白血病の検査・対策を検討されている方はこちらへご相談下さい。

愛知県西部家畜保健衛生所
TEL (0569) 72-0344 FAX (0569) 72-2770